

平成最後の年末ということで、この30年の歴史を振り返る!!

懐かしい商品や当時の流行品などが景品のクレーンゲーム

【平成こんなのあったよねキャッチャー】

シリーズ第3弾 12月20日登場しました!!

第3弾は 好きな長さに切って食べられる180cmの『バブルテープガム』



↑平成こんなのあったよねキャッチャーの
ポスター画像



↑景品の、好きな長さに切って食べられる180cmあるバブルテープガム
(※6フィートガムと呼ばれることもあります)

株式会社東洋(本社:埼玉県北本市/代表取締役社長 中村秀夫 以下、当社)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数がギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンター エブリデイ行田店(埼玉県行田市)」は、2018年12月、平成最後の年末にちなんで、クレーンゲームで平成という時代30年を振り返って頂く為、4週連続で登場する、懐かしい品やこの30年で流行した商品が景品のクレーンゲーム、※【平成こんなのあったよねキャッチャー】を誕生させました。

(※詳細は2ページに記載)

今回、12月20日(木)に、4週連続登場予定の3作目となる、【平成こんなのあったよねキャッチャー】第3弾を登場させました。第3弾は、1990年代、ファミリーレストランのレジの前のお菓子や玩具が売られているコーナーなどで良く目にしましたが、今ではその姿をまったくと言っていいほど見ることがなくなりました、容器の中にグルグルと巻かれ入っていて、好きな長さで切って食べられるガム『バブルテープガム』を景品に採用しました。シリーズ全4弾の中で、景品の確保が、1番困難だった商品です。

【ご連絡・お問い合わせはこちら】

会社名: 株式会社東洋
広報担当者: 緑川裕一(みどりかわ ゆういち)
担当携帯: 080-6858-9626
担当メール: midorikawa@everyday.co.jp

住所(本社): 埼玉県北本市中丸9-211
最寄駅: JR高崎線 北本駅
電話番号: 048-593-0999
FAX番号: 048-593-0997
HP: <https://ufo-everyday.com/>

平成こんなのあったよねキャッチャー とは・・・?

当社では、年末になると、クレーンゲームでその年1年を振り返る【世相キャッチャー】というのをこれまで展開してきました。今年は、平成最後の年末ということで、今年1年ではなく、『平成という時代、30年を振り返ってみよう』ということで、この30年間に流行った物などで、懐かしいと思ってもらえる物や、こんな物が流行ったんだと(特に30歳未満の方に)、平成の歴史を感じてもらえるような物を景品に採用したクレーンゲームを考えました。それが【平成こんなのあったよねキャッチャー】誕生のキッカケです。

第1弾は、**30代の男性社員の発案**で、角柱型の鉛筆で、転がして出た面にプリントされている内容で対戦が出来る**バトル鉛筆**を景品に採用し、12/6に第1弾として登場させました。(右の画像④)

今回の第2弾は、**20代の女性社員の発案**で、たまごっちのようにデジタルペットが飼育できる、**携帯型電子ペットゲーム**が採用し、12/13に第2弾として登場させました。(右の画像⑤)

4週連続登場のシリーズ最後の第4弾は、**12/27頃登場予定**で、高速道路のサービ観光地のお土産コーナースエリアや、観光地のお土産コーナーなどで良くみかけた、なぞなぞや占い、恐竜や生き物の図鑑などの**豆本キーホルダー**を景品として登場させます。



今回の第3弾は、大手菓子メーカーのガムブランドが次々と生産終了している背景からもわかるように、**現在は若者を中心にガムを噛む文化がなくなっていることが影響してか、今は日本市場から撤退し、日本で販売されていない商品だった為、商品を確保するのがとても困難**でした。国内で輸入食品のお店などを訪ねたりしましたが、見つからず、商品取り扱いのある海外の国外発送対応しているショッピングサイトを調べ、関税を支払い、商品をなんとか確保することが出来ました。第3弾は、**バブルガム(風船ガム)**になぞらえ、**ボールの上に掴んだ商品を落下させ、バウンドした勢いで、景品取出し口に落として頂く、バブルにちなんだ取り方の台**(画像左下)になっております。



各種メディアで取り上げて頂いております!!

12/19 YAHOOニュースや新聞の朝刊で平成こんなのあったよねキャッチャーが取り上げられました!!

(※その他、LINEニュースなどでも掲載頂きました。)

右の画像は、そのYahooニュースの画面を写したスクリーンショットです。

